

2014年2月28日

横浜美術館コレクション展 2014年度第1期

ともだちアーティストⅡ 収蔵作品でつづる芸術家の交友関係

特別展示: 奈良美智《春少女》

The Exhibition of the Collection of the Yokohama Museum of Art

・Artist as Friend Ⅱ

・New Acquisition: NARA Yoshitomo, *Miss Spring*

2014年3月1日(土) 5月25日(日)

横浜美術館



中村好宏《裸婦 A》1961年(昭和36) 油彩、カンヴァス 130.0×97.0cm

横浜美術館コレクション展2014年度第1期は「ともだちアーティストⅡ」をテーマに展示いたします。

画家や彫刻家、写真家に限らず、いつの時代も、芸術家たちはお互いの作品に敬意を払い、様々に交流していました。それぞれの取り組みに共感し合った者たちがグループをつくって協力したり、故郷を遠く離れた土地で出会った作家同士が深い友情で結ばれたり、流派を超えて各地の作家たちと自由に接触し、つなぎ役となる作家もいました。危機的状況に共同で立ち向かい、助け合い、また時には批判し合い対立しながら、彼らは芸術という大きな営みを支え合っていました。

本展は、幕末の横浜に始まり、20世紀前半のヨーロッパとアメリカを周り、戦後の日本を経て、再び1920年代の欧米に至る流れを4つの展示室に展開します。それぞれの場所と時代を共有した作家たちのまとまりを次の6つのセクションに仕立てました。作品とあわせて、作家たちの芸術と生活の様々なエピソードを小型のパネルで紹介いたします。

そのほか、新収蔵作品として、奈良美智の《春少女》(2012年)を特別展示します。

展示構成

1. 横浜での出会い - 写真家と画家 1
2. 藤田嗣治とパリの作家たち
3. ヨーロッパとアメリカ、ダダとシュルレアリスムを中心に 2
4. 戦後日本とアメリカ、具体とネオダダ
5. 「ハマ展」の仲間たち 3
6. 「毛の生えた心臓の夕べ」と同時代のヨーロッパとアメリカの写真 4

2013年度第3期「ともだちアーティスト」からの展示変更点

1 フェリーチェ・ベアト作品入替 / 2 サルバドール・ダリ、マックス・エルンスト、ジョセフ・コーネル作品を追加 / 3 新設セクション(「美人画の作家たちと赤囃会」は展示終了) / 4 新設セクション及び、1923年のパリ・ダダ主催上映会の再現



奈良美智《春少女》2012年(平成24) アクリル、カンヴァス 227.0×182.0cm ©Yoshitomo Nara 撮影:木奥恵三

奈良美智《春少女》

特別展示

奈良美智は、今日の日本を代表するアーティストのひとりです。

横浜美術館で2001年と2012年の2回に渡り開催された個展は、それぞれ10万人、17万人ほどの来館者に恵まれ、現代美術家の中でも特に多くの市民に親しまれています。

《春少女》(2012年)は、2度目の個展「奈良美智:君や 僕に ちょっと似ている」に出品された、近年の代表作です。

2mを超えるカンヴァスに描かれた大作で、こちらを見つめる少女の眼差しが、見る人それぞれの感情を喚起します。この少女の半身像は、アイコンのような左右対称の図式を微妙に崩すことで豊かな表情をみせ、奈良の近年の作風の変化を端的に示しているといえるでしょう。2013年度に新たに収蔵された本作品を、このたびコレクション展にて特別展示いたします。

